

## シンフォニー・オブ・ザ・シーズで最新技術を用いた大迫力の舞台が注目を集める

宇宙飛行士のクレイトン・C・アンダーソン氏が新たなショー『フライト』を監修、舞台作品初となる国際宇宙ステーションのレプリカの中で無重力を再現

マイアミ、2018年11月20日—[ロイヤル・カリビアン・インターナショナル](#)は、シンフォニー・オブ・ザ・シーズで、ステージ、空中、水中、氷上を舞台に最新技術を利用したショーを登場させ、エンターテイメントの可能性を引き続き広げます。充実のラインナップの中でも目玉は新作の『Flight: Dare to Dream』（フライト：デアア・トゥ・ドリーム、以下『フライト』）。これまでで最も野心的な舞台作品のひとつとして、歴史を築いてきた空と宇宙の旅について、過去・現在・未来を巡る、世界に一つの冒険をお届けします。お客様とともに時を越える大迫力の冒険へと出発、飛行機の歴史的出来事を辿ります。初の火星旅行で幕が上がり、ライト兄弟のキティホークでの初飛行にオマージュを捧げて幕を下ろします。

ロイヤル・カリビアン・プロダクションズのオリジナル作品『フライト』では、1,401席収容のロイヤルシアターに最新の3D飛行技術、映像、自動制御装置を導入しました。舞台作品として初めて宇宙の無重力状態を再現しており、国際宇宙ステーション（ISS）の精巧なレプリカの中で俳優たちが「浮遊」します。初の試みとしてロイヤル・カリビアンが制作した舞台上の国際宇宙ステーションの仔細なデザインは宇宙飛行士クレイトン・C・アンダーソン氏が監修を務めました。同氏は2回のミッションで宇宙空間滞在日数が延べ167日、累計38時間28分に及ぶ6回の船外活動をこなしました。初めて国際宇宙ステーションが宇宙空間へ打ち上げられて20周年となる本日、ロイヤル・カリビアンは『フライト』のメイキング映像で本作品の舞台裏を公開しています。

米国の宇宙飛行士兼作家で講演活動も行うクレイトン・C・アンダーソン氏は、「国際宇宙ステーションで私が過ごした5ヶ月間をロイヤル・カリビアンの舞台でもう一度追体験することができて非常に嬉しく思います。ロイヤル・カリビアンに協力して、ショーの中での無重力の再現と国際宇宙ステーションのレプリカの外見をできるだけ実際のものに近づけ、なかでも特に目を引く要素をさらに強調するようにしました。」と述べています。

ロイヤル・カリビアン・プロダクションズは舞台を手がけるにあたり、実際に宇宙に滞在した宇宙飛行士の監修を受けた初めての制作チームです。複雑で激しいダンスと演技は3D飛行という形でも表現され、観客に向かって飛び立つライト兄弟の作製したライトフライヤー号には、翼幅22フィート（6.7m）と実際に座れる一人用コックピットがあり、本公演の為に特別に再現しました。

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルのエンターテイメント部門副社長ニック・ウィアーは、「ロイヤル・カリビアンは高度な技術を備えた没入型エンターテイメントで既成概念を覆していきます。フライトでは空を飛べることの驚きと不思議に真に迫った表現ができたのをこれ以上なく誇りに思います。5歳のお子様から95歳の方まで「本当に？」とその目を疑うような時間をお楽しみいただけます。シンフォニー・オブ・ザ・シーズで公演する当社のショーすべてがお客様の想像力を驚掴みにして、忘れられない驚きの瞬間を創り出します。」と述べています。

ほかに以下の3つのメインショーがシンフォニー・オブ・ザ・シーズの3つのステージで行われます。

- ・ スタジオBで行われる1977は姉妹船ハーモニー・オブ・ザ・シーズではじめて公演を行ったアイススケートショー「1877」の続編で、タイムトラベラーの主人公テンプスが活躍します。新たな冒険で彼は女王陛下戴

冠 25 周年式典を翌日に控えるロンドンへ向かいます。そこでは不思議な力を持つ謎の宝石泥棒が女王の宝玉を盗んでいました。この当クルーズオリジナルの独創的アイスショーではタイミングが何より大事。完璧に動きを合わせた 48 台のドローンとハイテク 5K のプロジェクションマッピング画像が 70 年代の世界を氷上に再現します。

- ・ トニー賞受賞ミュージカルでお客様に大人気のヘアスプレーも、振り付けや舞台の装いを新たにし、シンフォニー・オブ・ザ・シーズで公演されます。ロイヤル・カリビアン・プロダクションズのオリジナルバージョンでは革新的な舞台デザインを採用し、1960 年代ボルチモアを舞台にした愛すべきティーンエイジャー トレーシー・ターンブラッドの物語に深みが増しました。
- ・ HiRO では、空中技や予想外のスタントと驚異的な曲芸をこれまでよりもさらに増やして、ロイヤル・カリビアンの中水ショーのレベルを引き上げます。世界最高のエクストリームスポーツのアスリートたちが命を吹き込んだ HiRO では、最先端のテクノロジーと振り付けで通常の屋外劇場の枠を超えた舞台をお見せします。二つと同じショーはなく、何度見ても価値が十分にあります。ショーでは軽業師が 3D 飛行技術を利用して文字通り観客の上空を飛翔し、プロのダイバーもその技で観客を魅了します。

### シンフォニーの最先端エンターテイメント施設

- ・ シンフォニー・オブ・ザ・シーズのアクアシアターはロイヤル・カリビアンのおアシスクラスにのみ存在する高飛び込みアクロバット演技スペースです。海洋を臨む屋外円形劇場と洋上最深の演技用プールには油圧リフトと 10m の飛び込み台を完備しています。
- ・ スタジオ B のアイスショーでは、ワールドクラスのスケート選手の素晴らしい妙技に、こだわりのマルチメディアを使った映像と音響を組み合わせます。お客様の目の前でアイスリンクの表面が形を変え、まるで現実と幻想が混じり合っていくような様子をご覧ください。
- ・ ロイヤルシアターは 1,401 席を収容する最新の劇的空間です。最新鋭技術の力を借りて作品世界へ入り込めるような魅惑的なパフォーマンス環境を創造しました。

シンフォニー・オブ・ザ・シーズは 2018 年 11 月 9 日に北米でのデビューを飾り、母港となるフロリダ州マイアミへ入港しました。冒険をたっぷり詰め込んだ同船は、11 月 17 日から 7 泊の東カリブ海クルーズと西カリブ海クルーズに就航し、最新技術を集めた、ポートマイアミの新しいターミナル A から出航します。

シンフォニーは、姉妹船のハーモニー、オアシス、アリュールでもお馴染みの洋上に浮かぶ 7 つの街というコンセプトに、あらゆる年代のお客様を魅了する、最高にモダンで革新的な施設やサービスの数々を組み合わせました。新しい冒険の音色を奏でるクルーズ船 シンフォニー・オブ・ザ・シーズについて詳細は <https://www.royalcaribbean.jp> でご確認ください。

### 宇宙飛行士クレイトン・C・アンダーソンについて

**ネブラスカ州オマハ出身。1959 年生まれ。**

アンダーソンは世界で最も難関の誰もが憧れる職業で忍耐と不屈の精神で成功を修め、自身の全ての講演でも NASA による「計画、訓練、飛行（実行）」の哲学を採用しています。アンダーソンは、実務の遂行・達成を目指す方へ、リーダーシップ、逆境にくじけない気持ち、情熱の各領域のレッスンと併せ、ユニークかつ「規格外」の洞察をお届けします。

アンダーソンの著作には、高い評価を受けた『The Ordinary Spaceman: From Boyhood Dreams to Astronaut』、お子様向けの『A is for Astronaut: Blasting Through the Alphabet』や『It's a Question of Space: An Ordinary Astronaut's Answers to Sometimes Extraordinary Questions』があります。

## ロイヤル・カリビアン・インターナショナルについて

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは数々の賞に輝く国際クルーズブランドで、49年間に渡り革新を重ね、洋上では見られなかった業界初の試みをつねに導入し続けています。

船上ではブロードウェイスタイルのエンターテイメントや斬新な施設を備え、ご家族連れをはじめ冒険心旺盛なお客様にもお楽しみいただける多種多様なプログラムをご提供します。

当社は世界で最も革新的なクルーズ船 25 隻を運航しており、バミューダ、カリブ海、ヨーロッパ、カナダ、米国、ニューイングランド、南アメリカ、アジア、オーストラリア、ニュージーランドといった全世界の人気のデスティネーションへお客様をご案内いたします。

また「ゴールド・アンカー・サービス」というサービス基準を設け、全スタッフが最高のおもてなしでお出迎えいたします。ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは Travel Weekly Readers Choice Awards で 15 年連続「Best Cruise Line Overall（クルーズ・ライン総合第 1 位）」に選ばれています。